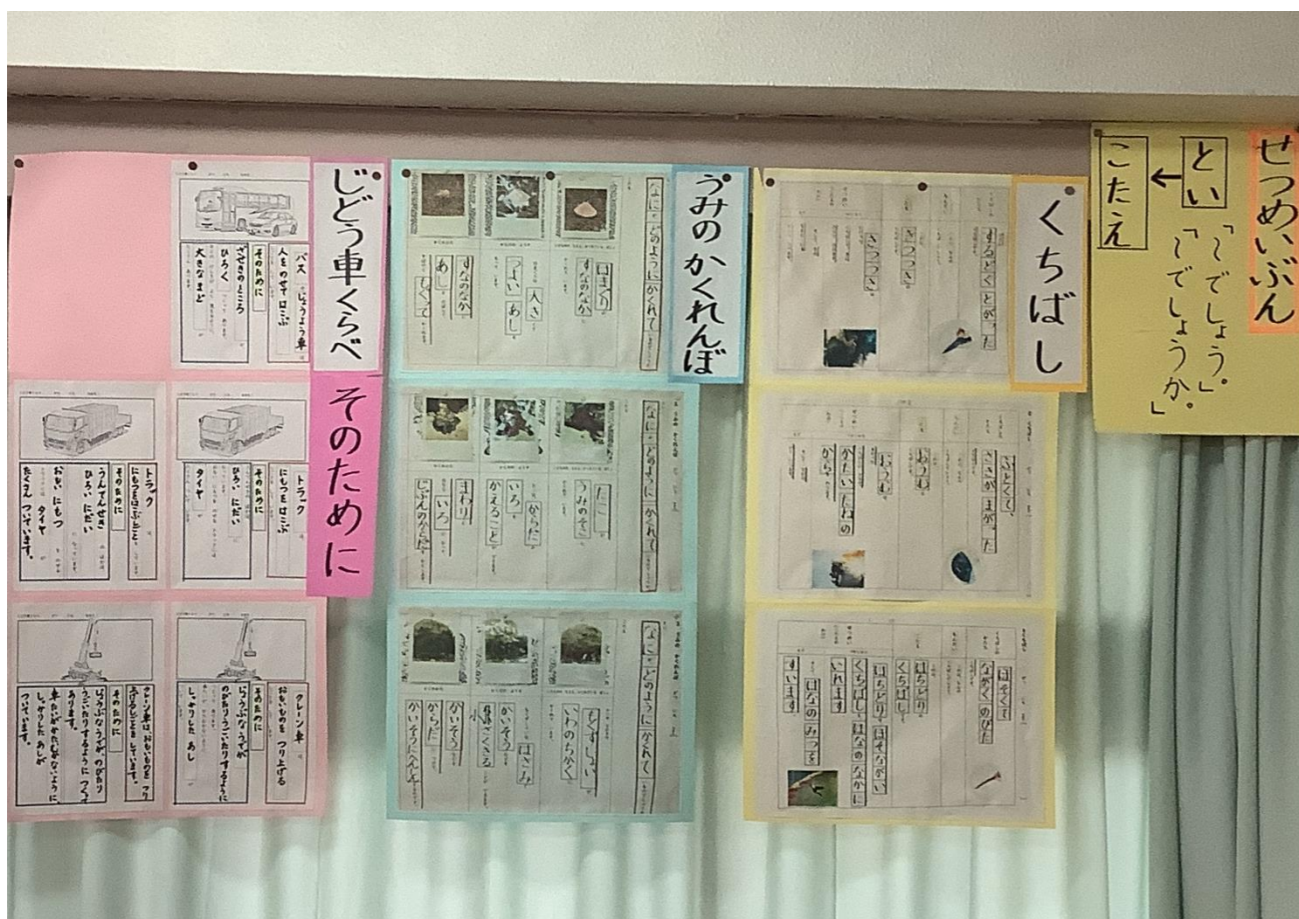


1年 既習事項（説明文）

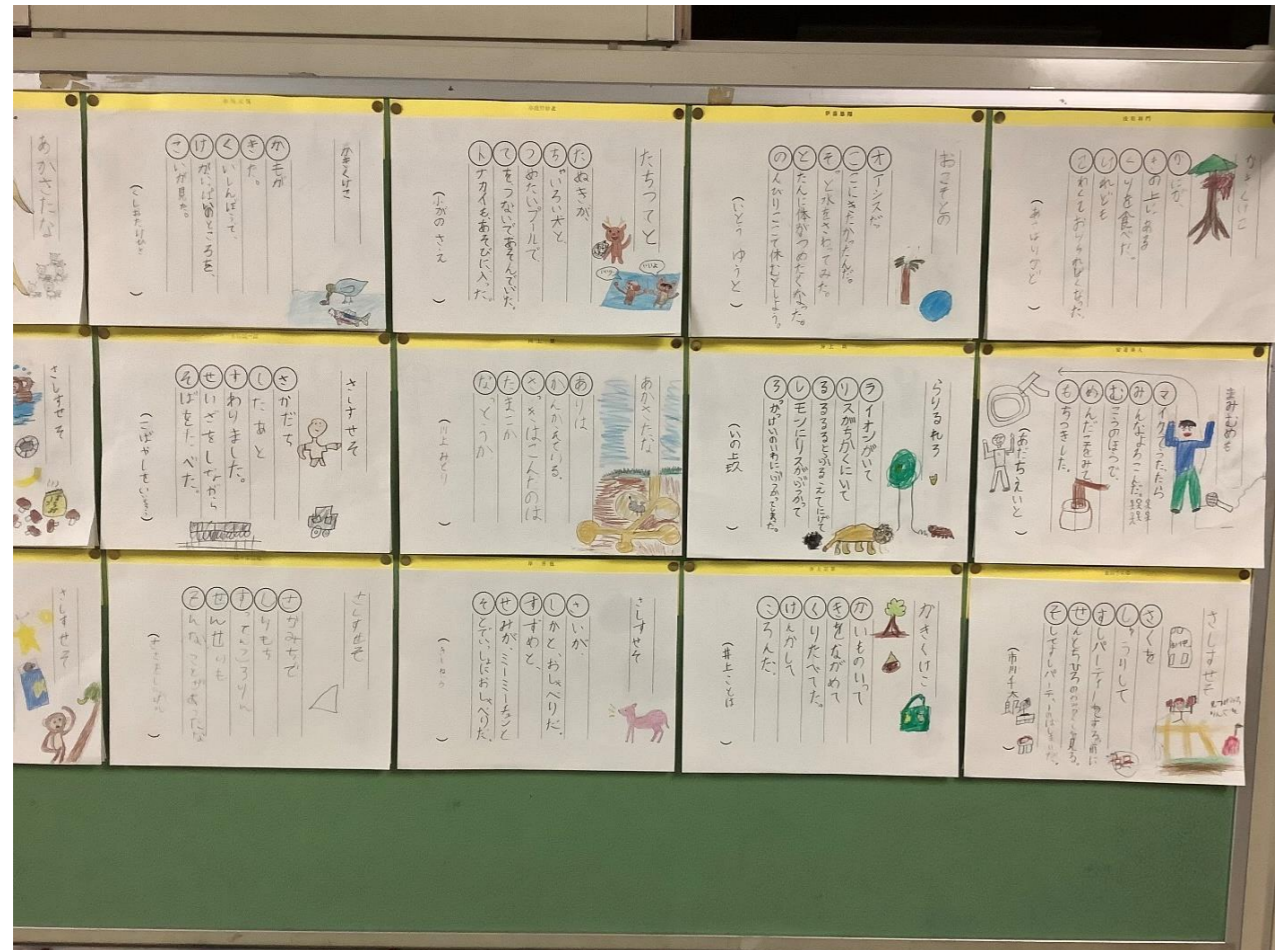
説明文のポイント及び既習の単元「くちばし」「うみのかくれんぼ」「じどう車くらべ」で取り組んだワークシート等を掲示し、児童が次単元で既習事項を生かせるようにする。



既習の単元のワークシートを掲示しておくことで、学習したことを振り返り、次単元につなげることができた。また、次時で児童が自力で活動に取り組むための手立てとして、単元の学習中は拡大したワークシートを掲示していた。

2年 ことばあそび 「あいうえお作文」

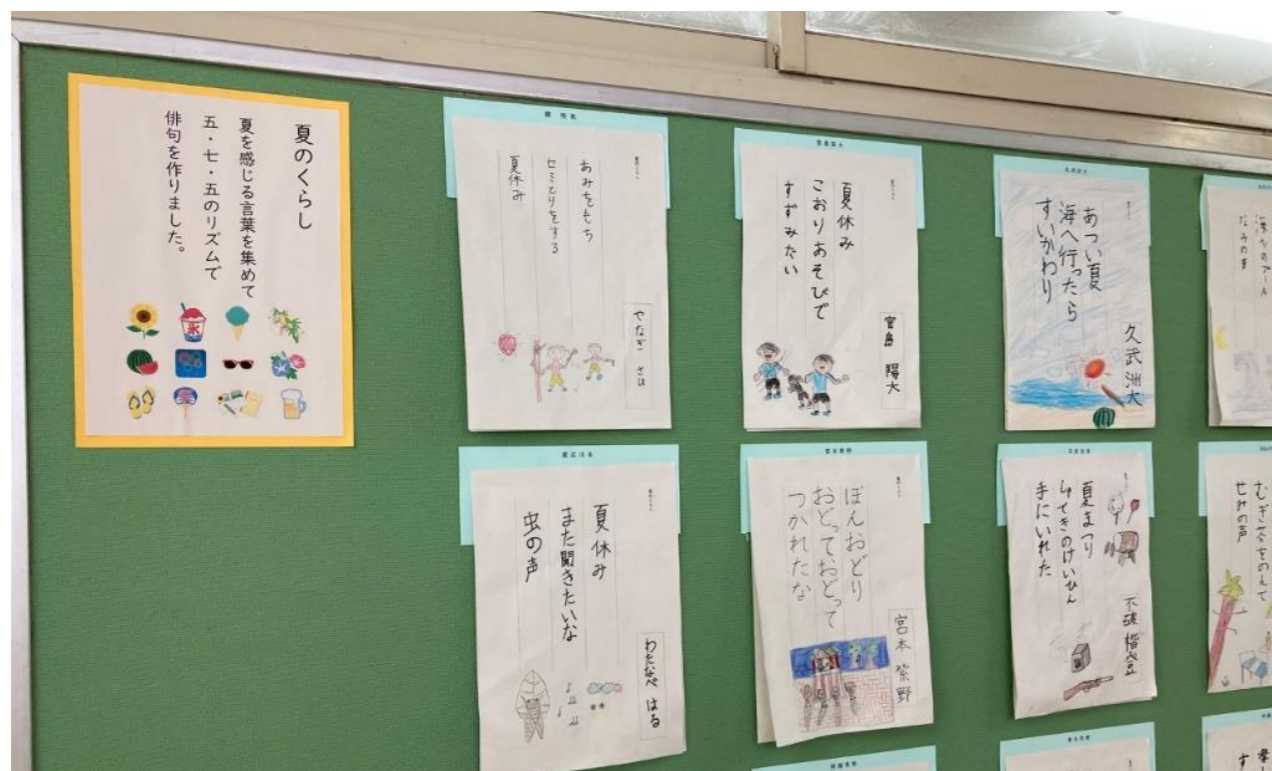
「ことばあそび」の中で「生き物」をテーマにあいうえお作文を行った。学級で共有した後で、気に入った作文を清書して廊下に掲示している。



語彙を使った「ことばあそび」を行うことで、楽しく自分の考えを表出することができた。また、自分の考えを相手に伝える経験となった。

3年 季節の言葉集め・俳句作り

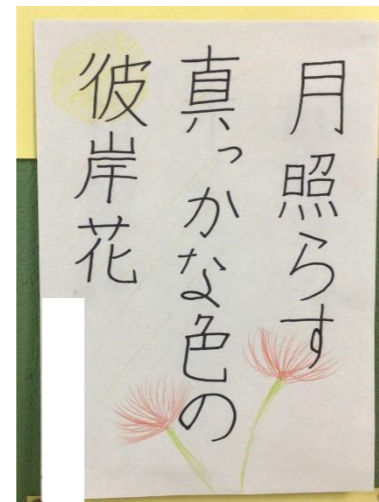
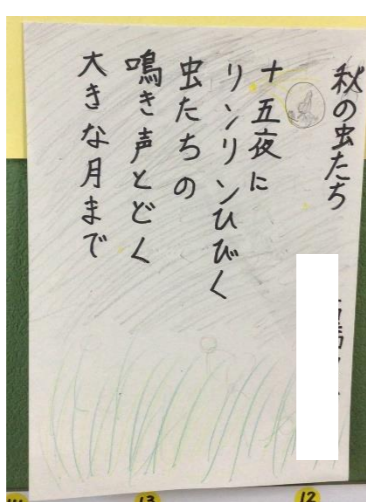
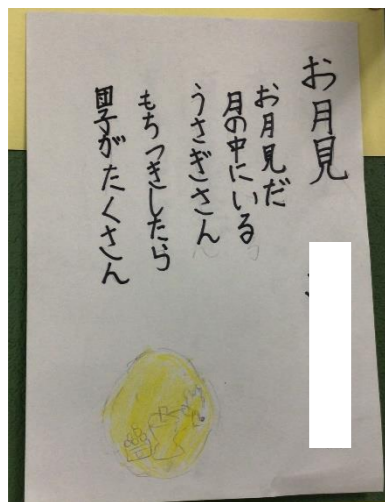
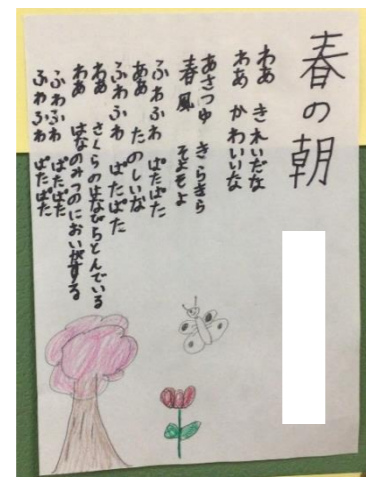
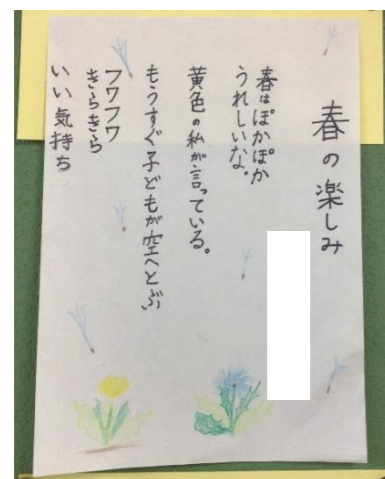
「春を感じる言葉」のように四季それぞれを感じる「季節の言葉」を書き、学級で共有した後で、気に入った言葉3つを書いたり、その言葉を用いて俳句作りをしたりしたものを廊下に掲示している。



学級で集めた言葉や俳句を共有することで、知らなかった言葉に触れるとともに、言葉に対する意識が高まった。

4年 季節の言葉集め・俳句、短歌、詩

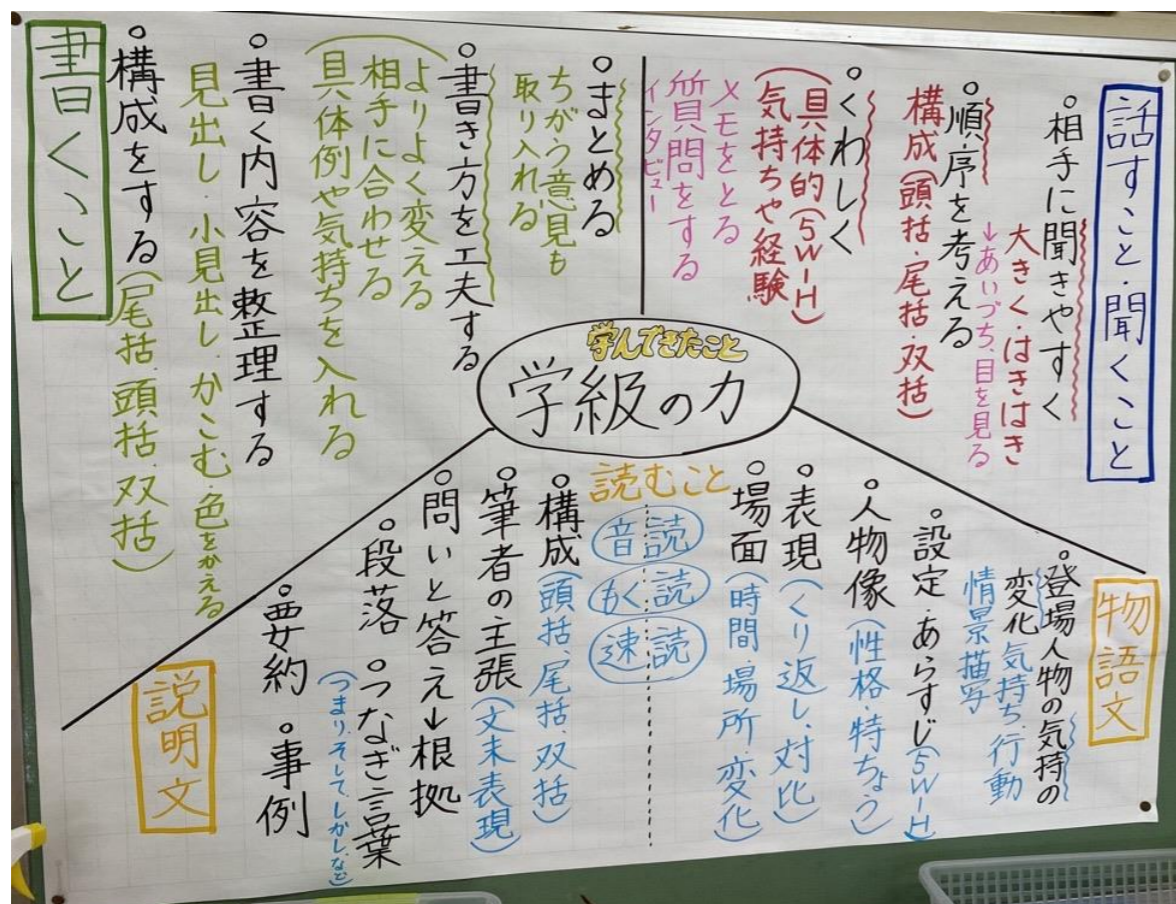
「春の楽しみ」等の単元で、四季それぞれを感じる「季節の言葉」を書き、学級で共有した後で、自分が選んだ季節の言葉を用いて俳句、短歌、詩を作り廊下に掲示している。



学級で集めた言葉や作った作品を共有することで、初めて知る言葉や様々な表現の仕方に触れることができ、言葉に対する意識が高まった。

5年 学年開き(既習事項の確認)

国語科の授業開きの際に、以前の学年で学んできたことを確認し、まとめた。主に学習方法や学習用語を確認し、共通の言葉として使えるようにした。



児童が自分自身で学習を進めていけるようになった。児童が既習事項から方法を選択しながら授業を進める姿が見られた。

5年 季節の言葉集め・俳句作り

「春を感じる言葉」のように四季それぞれを感じる「季節の言葉」と自分の見たもの、感情が読者に伝わるように言葉を吟味しながら、俳句を作成した。



句会を行うことで、児童は自分の感情や様子を表す言葉を辞書等で調べたり、言葉を並べ替えたりする様子が見られた。

5年「地球の現状を報告しよう」(報告文)

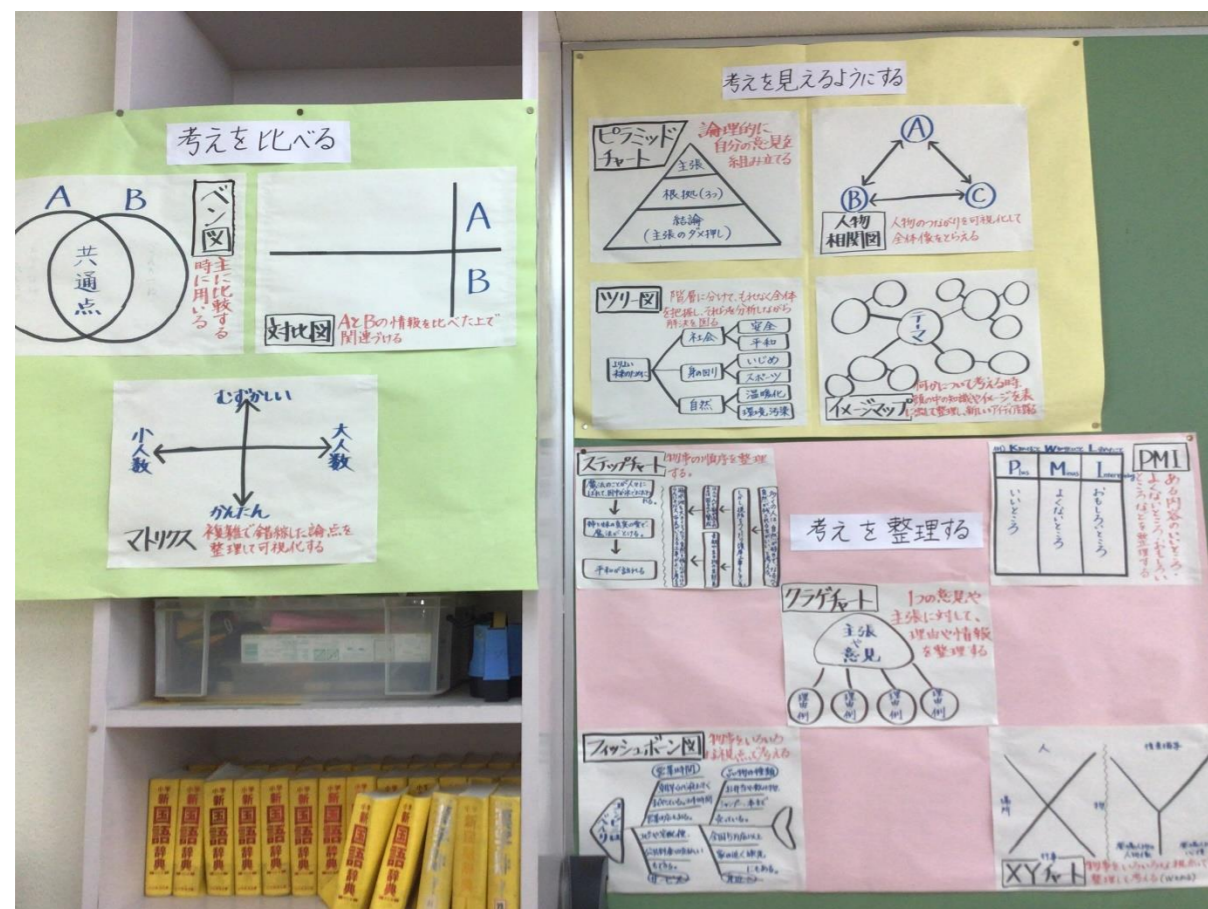
「みんなが過ごしやすい町へ」の学習で、総合的な学習の時間で学級で考えたテーマに沿って、調べた事を報告書にまとめる学習をした。(模造紙、Microsoft の power point、word)



自分の考えを伝える際にデータを用いたり根拠となる事例を順番を意識するなど、既習事項を意識しながら、作成することができた。

高学年 思考ツール

思考ツールを掲示しておき、あらゆる教科や活動において、活用できるようにしていく。児童が日常的に見ることができるようになることで、児童自身が選択できるようにしていく。



学習内容や活動内容によって、児童自身が思考ツールを選べるようになってきた。モデルがあることで、児童も真似しやすくなったと考えられる。